



Axial
RETAILING

第 67 期
中間事業報告書

2017 年 4 月 1 日から 2017 年 9 月 30 まで



Good
life,
Good
tomorrow

アクシアル リテイリング株式会社

ご挨拶

アクシアル リテイリングが誕生して、4年が経過しました。

当期は、当社グループの中核である原信のスーパーマーケット創業から50年目の節目の年にあたります。これまでご愛顧いただいたお客様、株主の皆様、お取引様に改めて御礼申し上げます。

私たちは原点に立ち返り、これまで以上に真摯な気持ちで本物のスーパーマーケットを追求し、チェーンストアとしてのメリットを地域の皆様に提供してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

原 和 彰

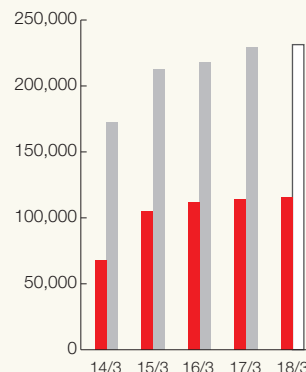
業績ハイライト

売上高

1,157 億円

前年同期比

1.8%増

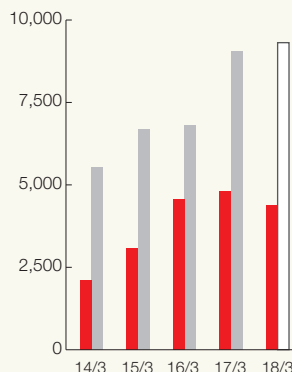


営業利益

43 億円

前年同期比

9.2%減

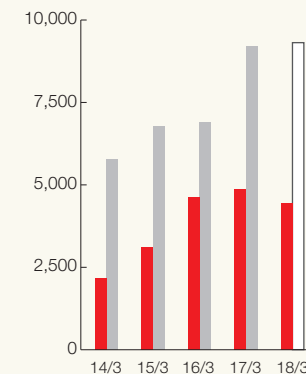


経常利益

44 億円

前年同期比

9.2%減

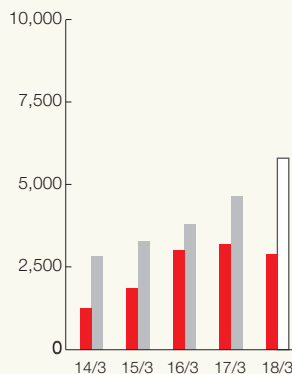


親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

29 億円

前年同期比

9.5%減



■ 中間 ■ 期末 □ 期末予想 単位：百万円

アクシアル リテイリング グループ経営理念

我々は毎日の生活に必要な品を
 廉価で販売し、
 より豊かな文化生活の実現に
 寄与することを目的とする。

アクシアル リテイリング グループビジョン

Advanced Regional Chain

アドバンスト

リージョナル

チェーン

お客様へより一層のメリットを提供するために、
 「強固で優良なリージョナル・チェーン※」を
 目指し、重点項目を掲げ、邁進してまいります。

※リージョナル・チェーン：一定数以上の店舗を出店している地域が2つ以上あるチェーンストア。

1 日本一のサービス

「判断の基準はお客様」を念頭に、お客様に満足していただけるよう、
 基本の徹底とレベルアップを図ってまいります。

2 SSM* 200店舗

一定数以上の適正規模を備えた店舗を有するチェーンストアの形成に
 より、お客様へスケールメリットを提供してまいります。

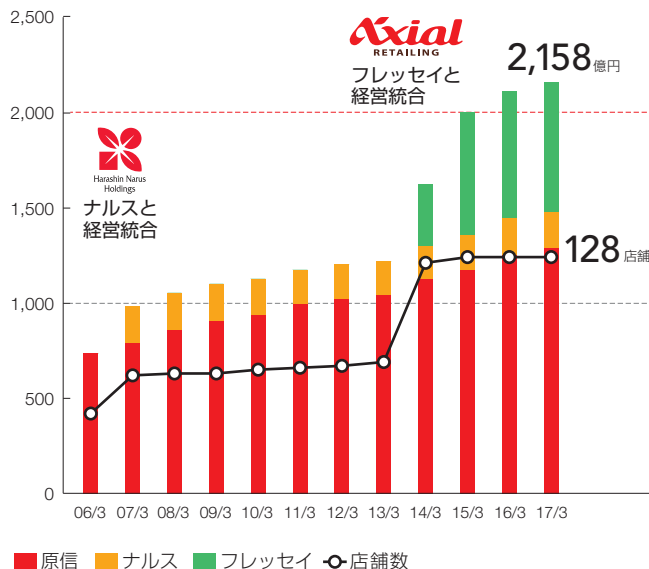
*SSM(Super Supermarket)：売場面積500～800坪のスーパーマーケットのこと。

3 信頼の構築

日々ご来店いただく多くのお客様や当社グループを取り巻く
 皆様から信頼していただける企業風土づくりに努めてまいります。

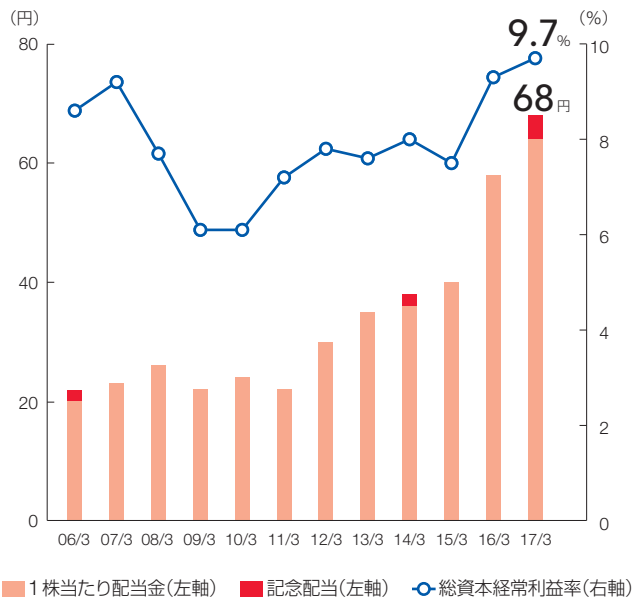
年間店舗売上高推移

(億円)



総資本経常利益率と配当金の推移

(円)



当中間期の概況

当中間期における当社グループの連結経営成績は、売上高が1,157億90百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益が43億64百万円(前年同期比9.2%減)、経常利益が44億26百万円(前年同期比9.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益が29億1百万円(前年同期比9.5%減)となりました。

(全般)

スーパーマーケット同士の競争のみならず、業態を超えた競争が激化する昨今の厳しい販売環境において、当社グループでは、前期に引き続き「変革への挑戦」を本年度の方針として定め、より一層強い企業体質を実現するため、グループ全体の経営基盤整備に取り組んでおります。

当中間期においては、前期に稼働を開始したフレッセイ前橋物流センターの軌道化をはかり、一定の成果が得られました。

しかし、期間を通じ気温が低めに推移したことや旬の食材の収量不足で季節感の打ち出しが難しかったこと、青果物が前年同期より安値安定であったこと、食中毒に関する食品事故報道の影響による買い控えなど、売上確保が難しい状況が続きました。また、社会保険加入対象者の拡大に伴う法定福利費の大幅増加は、営業利益を押し下げました。

(客単価、買上点数、一品単価)

近年進めてきた商品廃棄の削減の取り組みは売上総利益を改善する効果があったものの、一部の売場で縮小均衡に陥った面が見られました。また、人手不足により開店時や夕方以降の品ぞろえが不十分な売場も発生しました。これらについては、時間帯別の商品製造数と販売数を検証し、時間帯ごとにお客様にご満足いただける売場づくりに向けて取り組みを進めております。

一方で、近年取り組んでいる当社グループならではの魅力ある新たな商品のご提供、お客様に伝わるご案内方法の工夫等が功を奏し、既存店の買上点数は前年同期に比べ0.8%増加し、一品単価は前年同期に比べ0.6%増加いたしました。

この結果、既存店の客単価は前年同期に比べ1.4%増加いたしました。

(来店客数)

各地域における競争の激化に加え、自社競合の影響もあり、来店客数は既存店で前年同期に比べ2.0%減少し、全店では前年同期とほぼ同数となりました。

(商品・販売政策)

平成27年から展開を開始した新しい営業政策「ニューコンセプトII+(ツー・プラス)」は、健康・時短ニーズの高まりへの対応と食卓シーンを意識した売場構成をテーマに掲げ、一定の成果を上げております。

食事バランスには欠かせない野菜を飽きずに楽しく日々食していたため、工夫を凝らしたサラダと関連商材を一か所に集めた売場や、生魚を店内で調理し、焼き魚や煮魚あるいはから揚げでご提供する魚菜屋というコーナーは、新店のほか改装店舗で導入し、お客様からご支持をいただいております。

また、健康ニーズから減塩商品が注目されていますが、原信ナルスでは、減塩特有の「味が薄くておいしくない」という問題と向き合い、だしのうまみによって、しっかりした味付けでありながら塩分を抑えた独自商品「だし香るシリーズ」を新たなブランドとして強化し、好評を得ております。

加えて、運動はお客様の健康にとって切り離せない関係であることから、原信ナルスが主催する運動サポート提案として、ウォーキング企画を立ち上げました。今後も継続的に「食」と「運動」のご提案でお客様の健康に貢献してまいります。

(出店・退店等)

出店につきましては、フレッセイ上並榎店(9月、群馬県高崎市、売場面積2,201㎡)を新設いたしました。

改装につきましては、原信南万代店(5月、新潟県新潟市、売場面積2,068㎡)、原信中野店(7月、長野県中野市、売場面積1,838㎡)について実施いたしました。

退店につきましては、フレッセイ上並榎店の新設に伴い、近隣のフレッセイ並榎店(9月、群馬県高崎市、売場面積997㎡)を閉鎖いたしました。

スーパーマーケットの店舗展開



新潟県、長野県、富山県に

77

店舗

北陸自動車道

富山県

長野県

上信越自動車道

フレッセイ
上並複店

長野自動車道

岐阜県

日本海東北自動車道

山形県

磐越自動車道

福島県

新潟県

関越自動車道

群馬県

群馬県、栃木県、埼玉県に



51

店舗

栃木県

東北自動車道

茨城県

主要財務データ

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2017年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2017年9月30日
資産の部		
流動資産	22,890	23,490
固定資産	72,743	73,329
資産合計	95,634	96,820
負債の部		
流動負債	29,762	29,995
固定負債	16,081	15,105
負債合計	45,843	45,100
純資産の部		
株主資本	48,155	49,935
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	15,749	15,749
利益剰余金	29,304	31,085
自己株式	△58	△58
その他の包括利益累計額	1,635	1,783
純資産合計	49,790	51,719
負債純資産合計	95,634	96,820

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2017年4月1日から 2017年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,010	6,896
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,769	△2,067
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,592	△3,357
現金及び現金同等物の増減額	△352	1,472
現金及び現金同等物の期首残高	11,308	10,364
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,956	11,836

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2017年4月1日から 2017年9月30日まで
売上高	113,705	115,790
売上原価	82,740	83,337
売上総利益	30,965	32,452
販売費及び一般管理費	26,158	28,088
営業利益	4,806	4,364
営業外収益	125	110
営業外費用	57	48
経常利益	4,873	4,426
特別利益	3	1
特別損失	142	86
税金等調整前四半期純利益	4,734	4,341
法人税等合計	1,527	1,439
四半期純利益	3,207	2,901
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,207	2,901

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2017年4月1日から 2017年9月30日まで
四半期純利益	3,207	2,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	288	155
退職給付に係る調整額	△4	△6
その他の包括利益合計	283	148
四半期包括利益	3,491	3,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,491	3,050
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

かみなみえ フレッセイ上並榎店



群馬県高崎市 2017年9月29日開店



地域No.1の品ぞろえを実現したチーズコーナー。
おいしさとお選びの楽しさを提供します。



ビンテージワイン、受賞ワイン、オーガニックワインなど幅広い品ぞろえと、チーズコーナーの商品に合うワインも取り揃えています。

毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に記載または記録された、100株以上を保有される株主の皆様に対して、下記の贈呈基準をもとに、株主優待券（以下、「お買い物割引券」と表記します。）あるいは株主優待品の中から一点をご選択いただき贈呈いたします。

1. 株主優待制度の内容

- ① 贈呈内容 お買い物割引券または株主優待品のいずれかをお選びいただけます。
各々の贈呈基準は「2. 株主優待制度の贈呈基準」を参照ください。（お買い物割引券と株主優待品の両方を選択することはできません。）
- ② 対象者 100株以上の株主
- ③ 贈呈基準 3月31日および9月30日現在の株主を対象に年2回実施
- ④ 贈呈方法 対象者に案内書を送付し、案内書に添付された申込書に必要な事項をご記入の上ご返送いただき、申込書と引き替えに商品等を贈呈いたします。

2. 株主優待制度の贈呈基準

(1) お買い物割引券(額面100円)

① 贈呈基準

100株以上	500株未満	15枚	3,000株以上	4,000株未満	150枚
500株以上	1,000株未満	30枚	4,000株以上	5,000株未満	200枚
1,000株以上	2,000株未満	50枚	5,000株以上		250枚
2,000株以上	3,000株未満	100枚			

② 使用方法

一回のお買上金額1,000円以上につき、1,000円ごとに1枚(割引額100円)利用可能

③ 使用できる店舗および対象商品

原信、ナルス、フレッセイの直営売場における全商品
(ただし専売品・商品券・その他指定商品は除く。)

④ 有効期限

3月31日現在の株主へのお買い物割引券は、配布日から翌年1月31日まで
9月30日現在の株主へのお買い物割引券は、配布日から同年7月31日まで

(2) 株主優待品の贈呈基準

● 贈呈基準

100株以上	500株未満	クオカード1,000円分
500株以上	1,000株未満	以下の2品より1品お選びいただけます。 ●クオカード2,000円分 ●新潟県産こしひかり(米)5kg
1,000株以上		以下の3品より1品お選びいただけます。 ●クオカード3,000円分 ●新潟県産こしひかり(米)10Kg ●自社開発商品詰め合わせ1セット

「原信アクション」 スタート!!



50 TH ANNIVERSARY

おかげさまで50周年

原信のスーパーマーケット創業50周年を機に、「原信アクション」を立ち上げました。

「原信アクション」は、お客様の暮らしに豊かさを生む提案を総称したもので、お客様に感謝の意をお伝えし、未来につながる取り組みを進めていこうというものです。



国際交流に貢献

青少年の国際理解の推進と、国際交流の発展のため、長岡市が行っている3つの事業の海外派遣を支援します。

- 1 トリアー(ドイツ)姉妹都市締結10周年記念事業
- 2 フォートワース(アメリカ)姉妹都市締結30周年記念事業
- 3 学生平和交流プログラム in Honolulu



トリアー市の市議会議場にて
長岡造形大学 和田学長、馬場学部長、
派遣された5名の学生と、当社社長 原



ウォーキングデー開催

お客様の健康ニーズの高まりにお応えするため、これまで商品を通じて食シーンの提案を行ってきました。

しかし、健康のために食と運動は切り離すことができません。そこで原信が主催するウォーキング企画を立ち上げました。



フォトコンテスト開催

お客様と一緒に当社の名物商品「おはぎ」を楽しむフォトコンテストを開催しました。

写真共有アプリを活用することで、大変多くの方々から応募いただき、バラエティに富んだ作品が揃いました。



会社データ

会社の概要

商 設 所	在 地	号 立 地	アクシアル リテイリング株式会社 1967年(昭和42年)8月 新潟県長岡市中興野 18番地2 Tel: 0258-66-6711 Fax: 0258-66-6727
資 上 証	本 場 取 引 所	金 引 所 コ ー ド	31億5,971万2,610円 東京証券取引所市場第一部 8255

取締役、執行役員および監査役

代表取締役社長	原	和	彦
代表取締役副社長	植	木	威
取締役副社長・執行役員	五	十	嵐
専務取締役・執行役員	山	岸	豊
常務取締役・執行役員	小	出	朗
取締役・執行役員	森	山	仁
取締役・執行役員	丸	山	三
取締役・執行役員	加	部	敏
取締役・執行役員	中	川	学
取締役	細	貝	巖 (社外取締役・独立役員)
取締役	新	原	皓一 (社外取締役・独立役員)
執行役員	吉	田	浩和 (財務経理部長)
執行役員	松	口	克彦 (総務部長)
執行役員	小	林	政信 (経営企画部長)
執行役員	丸	山	将範 (TQM推進部長)
執行役員	松	田	易伸 (物流企画部長)
執行役員	石	田	直樹 (品質安全部長)
常勤監査役	八	子	淳一 (社外監査役)
常勤監査役	藤	田	友三郎
常勤監査役	岩	崎	良次
監査役	金	子	健三 (社外監査役)

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
中間配当基準日	9月30日
期末配当基準日	3月31日
株主優待制度	有(年2回)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問い合わせ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話 0120-232-711
(郵便物送付先)	〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部